

企業名 **K・Dサービス株式会社**
 メンバー **神田 井上 奈良 八木 山田**

段ボールの新しい活用方法

①ダンボール箱は、私たちの生活において、物品の収納や運搬に用いられてきた必要不可欠なプロダクトである。90%以上の原料が再利用されることから近年SDG'sの観点からも注目されている。軽量で加工しやすい反面、耐水性や耐久性が乏しく、これまで活用方法が限定されてきた。この度のプロジェクトでは、従来の箱にとらわれないダンボールの活用方法を模索することを第一の目標とした。
 ②K・Dサービス株式会社は、近年ダンボールをインクジェットプリンターによって着色する設備を導入した。その装置を用いて様々な柄やパターンや絵画、写真を印刷することで、新しい製品を開発している。この技術を活用した新しい段ボール製品とプロモートを検討した。

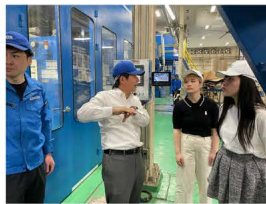
■検討のプロセス

以下のプロセスで検討を行った。

①ブレンストミング → ②工場見学(神崎紙器工業様およびK/Dサービス様の工場) → ③アイデアの創出 → ④プロトタイプング → ⑤アイデアの絞り込み



神崎紙器工業外観



神崎紙器工業工場内部



原紙のロール



ダンボールの棚

■初期検討案 (アイデアの創出)

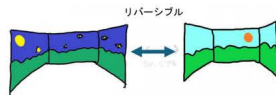
ダンボールの特徴をK/Dサービス様から教えていただき、初期検討案を作成した。

段ボール壁紙 DanWall

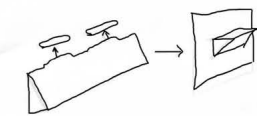
ターゲットユーザ
 部屋の模様替えが好きな人
 かつ賃貸で暮らしている人

メリット

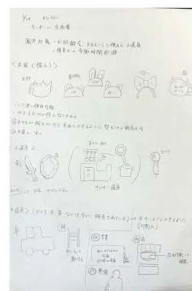
- ・段ボールによる吸音効果
- ・壁に穴をあける必要がない
- ・自分の好きな柄を壁紙に出来る
- ・安価に模様替え可能
- ・裏表印刷で1つ買うだけで2種類の模様替えが可能



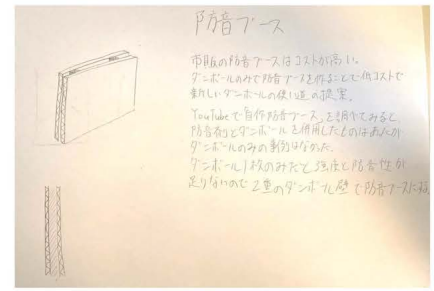
リバーシブル



ダンボール壁紙のアイデア



園児を対象としたダンボールグッズのアイデア



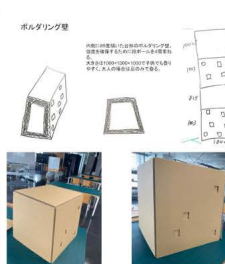
ダンボールによる防音ブースのアイデアのアイデア

■検討案 (工場見学後)

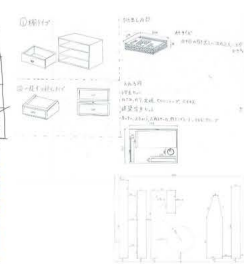
工場見学を通じて、加工や組み立ての知識を得た上で再度検討案を作成した。



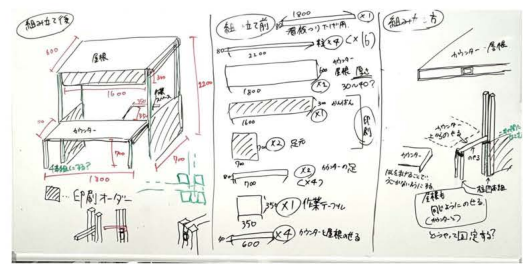
子ども化粧台



ボルダリングの壁



引き出し型道具箱



フリマの屋台

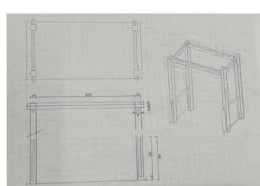
■最終案 (案の集約と絞り込み)

検討案の図面化を進めながら検証を行い、検討案の絞り込みを実施した。

- ①ダンボールによる構造体を開発する案を一つにまとめた
- ②お道具箱は、単体で検討した
- ③ダンボール壁紙は次回に繰り越した



具体化案1 引き出し型道具箱



具体化案2 フリマの屋台



■今後の課題

フリマ屋台の構造と接合部の検討
 製品を発送するパッケージのデザイン
 店舗名や側面のプリントを発注する仕組み